

# News Release

United Airlines  
Worldwide Media Relations  
872.825.8640  
media.relations@united.com



2023年5月22日

## ユナイテッド航空、 2023年に使用する持続可能な航空燃料(SAF)を3倍に、 サンフランシスコ国際空港発のフライトにも導入開始

- 2023年のSAF使用量は1,000万ガロンに達する見込みで、2022年の約3倍、2019年の約10倍に相当
- 「エコ・スカイズ・アライアンス」プログラムに加わった企業を歓迎、参加企業はSAFの購入に貢献
- 今年のSAF購入量<sup>1</sup>、およびSAFを使用した予定運航座席マイルは航空会社中で最多に<sup>2</sup>

ユナイテッド航空(本社:シカゴ、最高経営責任者:スコット・カービー)は、2023年5月4日(米国中部時間)、サンフランシスコ国際空港を出発する便において、SAFを混合したジェット燃料の使用を開始したと発表しました。また、ロンドン・ヒースロー空港においても今年後半にSAFを導入する予定であることも発表しました。これによりユナイテッド航空の2023年におけるSAF使用量は、約1,000万ガロンに達する見込みで、その量は2022年使用量の約3倍、2019年の約10倍に相当します。

ユナイテッド航空サステナビリティ担当最高責任者であるローレン・ライリーは、「わずか過去数年でSAFの使用量を飛躍的に増大できたことは素晴らしいことです。2023年の1,000万ガロンという数字は、現時点では必要な量に対してわずかでしかありません。しかし私たちは、今後のSAF供給量を増やすため、エタノールに始まり、藻や二酸化炭素など可能な限りの原料からSAFを製造する会社に多額の投資を実施しています。政策立案者、他業種の企業、他の航空会社との連携を継続することに加えて、こうした投資が太陽光や風力に匹敵する成果の実現に向けてSAFという新たな産業の発展に資すると信じています」と述べています。

<sup>1</sup> 発表済のSAF長期供給契約に基づく、ユナイテッド航空はSAFに航空会社として最大の投資を行っています。

<sup>2</sup> 発表された情報を用いて算出した、座席有効マイル数(ASM)に基づく記述。規制による義務に基づき供給されるSAFは除きます。

ユナイテッド航空は、世界の航空会社で最多となる 50 億ガロンを超える今後の SAF の製造に投資してきました<sup>3</sup>。また本日の発表により、SAF を使用したユナイテッド航空の運航マイルは、世界のどの航空会社をも上回る見込みです<sup>4</sup>。同社はすでに、2016 年よりロサンゼルス国際空港、2022 年からはアムステルダム・スキポール空港で SAF 混合燃料の使用を開始しており、2023 年も両空港で SAF の使用を継続しています。

サンフランシスコ国際空港への SAF の供給は 4 月から開始されており、ユナイテッド航空は、同空港の出発便向けに 150 万ガロンを受領しています。ユナイテッドが調達した残りの SAF は、ロサンゼルス国際空港とアムステルダム・スキポール空港で使用します。なお、ロンドン・ヒースロー空港でも、2023 年中に SAF の受領を開始する予定です。同空港に SAF が供給開始されれば、ユナイテッド航空は初めて [ロンドン・ヒースロー空港 SAF インセンティブ・プログラム\(London Heathrow's SAF incentive program\)](#) に参加することになります。

### エコ・スカイズ・アライアンス第 3 弾

ユナイテッド航空が使用する SAF の購入費用の一部は、同社の革新的なプログラム「[エコ・スカイズ・アライアンス\(Eco-Skies Alliance<sup>SM</sup>\)](#)」から支払われます。これは「グリーンプレミアム」として、二酸化炭素排出量が低い燃料の購入費用を参加企業が共同で負担するプログラムです。「エコ・スカイズ・アライアンス」では、法人顧客に透明性を確立し、ユナイテッド航空のフライトによる人やモノの移動に伴う二酸化炭素排出量を認証済み SAF により実質的に削減する機会を提供します。

ユナイテッド航空の「エコ・スカイズ・アライアンス」プログラムは 2021 年 4 月に発足し、これまでに約 1,500 万ガロンの SAF の購入に向け共同で貢献しています。従来のジェット燃料と比べ、ライフサイクルに基づく評価で最大 80%の温室効果ガス(GHG)が削減できることから、この SAF 購入量は約 150,000 メトリックトンの GHG 排出量を削減できるだけの十分な量、すなわち乗客が約 10 億マイル移動できる量に相当します。本日新たに発表する企業を含めて、同プログラムには現在、24 社が参加しています。

新たな参加企業の一部は以下の通りです。

- Audi
- Bank of America

---

<sup>3</sup>今後の SAF 購入のために航空会社が締結した、発表済の長期供給契約に基づきます。

<sup>4</sup>発表された情報を用いて算出した、座席有効マイル数 (ASM) に基づく記述。規制による義務に基づき供給される SAF は除きます。

- Cisco
- Corporate Travel Management
- DB Schenker
- First Eagle Investments
- Macquarie Group
- Thermo Fisher Scientific

ユナイテッド航空がサンフランシスコ国際空港とアムステルダム国際空港で使用する SAF は、[Neste 社](#)により供給されています。「[Neste MY Sustainable Aviation Fuel™](#)」は、使用済み食用油や動物性脂肪廃棄物など、持続可能な方法で調達され、100%再生可能な廃棄物および残余原料から生産されています。この SAF を使うことで、従来のジェット燃料と比較し、ライフサイクルでの温室効果ガスを最大 80%<sup>5</sup>削減できます。

将来的には、家庭ごみ、森林廃棄物、藻、圧縮二酸化炭素を含む他の原料から SAF を生産できる可能性があります。ユナイテッド航空はこれまでに、50 億ガロン以上の SAF の製造に投資しており、この量は世界の航空会社で最大となっています<sup>6</sup>。

### 米国政府も SAF の価値を認識

米 [2022 年インフレ抑制法](#)には、米国の歴史上最大規模の政府による気候変動対策への投資が含まれており、クリーンエネルギーや二酸化炭素回収に対する税制優遇措置に加えて、SAF には新しくブレンダー（混合業者）への税額控除が認められています。これにより SAF インフラの強化と供給量の増加を促し、SAF を使用する企業への費用負担が軽減されることが期待されています。

米軍は現在、年間約 50 億ガロンのジェット燃料を使用しており、国防総省は、[2023 年国防授権法](#)に基づき、2028 年までにジェット燃料の SAF 混合率を少なくとも 10%にする予定です。

米[エネルギー省](#)によると、米国における膨大な資源により、予想される米国の航空業界全体の SAF 需要を十分に満たせるとしています。

### 2050 年までに排出量ネットゼロを公約

---

<sup>5</sup> ニート SAF（SAF 原液）を使用し、CORSA 適格排出ユニットなどの定評あるライフサイクル評価（LCA）法を用いて算出した場合。

<sup>6</sup> 今後の SAF 購入のために航空会社が締結した、発表済の長期供給契約に基づきます。

ユナイテッド航空は、航空会社として初めて、2050年までに従来のオフセットに頼ることなく二酸化炭素排出量ネットゼロを達成することを公約しました。「エコ・スカイズ・アライアンス」プログラムに加えて、航空旅行の脱炭素化を実現する企業や技術を発見し、これらに投資することを目指すベンチャーファンドとしてユナイテッド・エアラインズ・ベンチャーズ(United Airlines Ventures)も立ち上げ、続いて先日、UAV サステナブル・フライト・ファンド(UAV Sustainable Flight Fund<sup>SM</sup>)を設立しました。これらのファンドの戦略的投資には、二酸化炭素回収、水素電気エンジン、地方路線向けの電動旅客機、エアタクシーなどが含まれます。また、ユナイテッド航空は今年、米国の航空会社として初めて、顧客向けに利用フライトの二酸化炭素排出推定値の表示を開始しました。

### ユナイテッド航空について

ユナイテッド航空では、「Good Leads The Way」をモットーとしています。ユナイテッド航空は、米国本土におけるハブ空港である、シカゴ、デンバー、ヒューストン、ロサンゼルス、ニューヨーク・ニューアーク、サンフランシスコ、およびワシントン D.C. から北米航空会社の中で、最も広範囲なグローバルネットワークを展開しており、現在、有効座席マイルにおいて、世界最大の航空会社となっています。ユナイテッド航空の採用情報について詳しくは [www.united.com/careers](http://www.united.com/careers) を、ユナイテッド航空についての詳しい情報は [www.united.com](http://www.united.com) をご覧ください。ユナイテッド航空の親会社であるユナイテッド・エアラインズ・ホールディングス・インクは、ナスダック市場(Nasdaq)に UAL のシンボルで上場しています。

### 日本におけるユナイテッド航空

ユナイテッド航空についての詳しい情報は [日本語版ウェブサイト \(united.com\)](http://www.united.com) をご覧いただくか、[日本語版公式フェイスブック](#)「@UnitedAirlinesJapan」や [日本語版公式インスタグラム](#)「unitedairlines\_jp」をフォローしてください。また、日本語プレスリリースについては、ユナイテッド航空ウェブサイト内の [Newsroom \(https://www.united.com/en/us/newsroom/japan\)](https://www.united.com/en/us/newsroom/japan) をご覧ください。

### **United Cautionary Statement Regarding Forward-Looking Statements and Other Important Information**

This press release contains certain “forward-looking statements” within the meaning of the Private Securities Litigation Reform Act of 1995 relating to, among other things, plans and projections regarding the company’s environmental, social or governance (ESG) goals, targets, commitments, strategies and initiatives and related business and stakeholder impacts. All statements that are not statements of historical facts are, or may be deemed to be, forward-looking statements. Such forward-looking statements are based on historical performance and current expectations, estimates, forecasts and projections about our future financial results, plans, objectives, goals, targets, commitments, strategies and initiatives and involve inherent risks, assumptions and uncertainties, known or unknown, including internal or external factors that could delay, divert or change any of them, that are difficult to predict, may be beyond our control and could cause our future financial results, plans, objectives, goals, targets, commitments, strategies and initiatives to differ materially from those expressed in, or implied by, the statements. These risks, assumptions, uncertainties and other factors include, among others, any failure to meet

stated ESG goals, targets, commitments, strategies and initiatives in the time frame expected or at all as a result of many factors, including changing societal, market, competitive, regulatory or stakeholder expectations and any delay or failure of any technology to be fully developed or become functional or marketable or to serve the purpose for which it was designed. No forward-looking statement can be guaranteed. Forward-looking statements in this press release should be evaluated together with the many risks and uncertainties that affect United's business and market, particularly those identified in the "Management's Discussion and Analysis of Financial Condition and Results of Operations" and "Risk Factors" sections in United's Annual Report on Form 10-K for the year ended December 31, 2022, as updated by our subsequent Quarterly Reports on Form 10-Q, Current Reports on Form 8-K and other filings with the Securities and Exchange Commission. Risks and uncertainties related to United's environmental compliance, climate commitments and climate strategy are further described in Part I, Item 1A. Risk Factors of United's Annual Report on Form 10-K for the fiscal year ended December 31, 2022—"We are subject to many forms of environmental regulation and liability and risks associated with climate change and may incur substantial costs as a result. In addition, failure to achieve or demonstrate progress towards our climate goals may expose us to liability and reputational harm."

The statements included in this press release are made only as of the date of this press release and except as otherwise required by applicable law or regulation, United Airlines undertakes no obligation to publicly update or revise any statement, whether as a result of new information, future events, changed circumstances or otherwise. In particular, United Airlines reserves the right to change, amend, supplement or abandon some or all of the statements regarding goals, targets, commitments, strategies, initiatives, intentions and other statements from time to time without notice.

In addition, some of our disclosures in this press release are estimates or based on assumptions due to inherent measurement uncertainties. For example, United's statement that it has purchased more SAF than any other airline is based on publicly available future purchase agreements for SAF of certain airlines as of the date hereof.

###